

デフスポふくしま

東京2025デフリンピックを**100倍**楽しむための

スポーツ × トークイベント

2024
11.17 SUN
10:00-15:00

デフ・パラスポーツ競技

音に頼らないでどのようにスポーツをするのか体感してみましょう！今注目のパラスポーツも体験できます！

初心者OK!

1名からOK!



元なでしこジャパン岩淵真奈さんに
デフ&パラスポーツ競技を
体験していただきます！
いつ登場するかはお楽しみ！

手話体験・PRブース

- 手話体験ブース / 情報保障技術体験ブース
きこえない人ときこえる人をつなぐ最新の情報保障技術を紹介。VRを使ったきこえない体験もあります。
- デフリンピックPRブース
東京2025デフリンピックの最新情報はこちらでゲット！
- あさか開成高等学校
地球環境に配慮したエシカル(倫理的)消費の浸透を目的に形のくずれたものなど、県内各地の規格外商品を活用したお菓子などの紹介と販売をします。

キッチンカー

- ふたば未来学園高等学校
道の駅なみえ
なみえバーガーなど
- nico coffee beans
コーヒー・ワッフルなど
- やきとりもちゃん
やきとりなど
- バディフードトラック
金沢ゴーゴーカレーなど

会場レイアウト

競技体験・手話体験・PRブース
10:00～15:00
※デフサッカー体験のみ
10:00～12:30



会場入口

飲食スペース

主催 / 福島県

問合せ /

デフスポふくしま運営事務局
(JTB福島支店 福島サテライト)
TEL.024-523-3314 FAX.024-522-2980
E-mail fukushima_tabiconsult@jtb.com

予告

福島ファイヤーボンズ公式戦で
300日前イベント開催!

目付 2025年2月1日(土) 会場 円谷幸吉メモリアルアリーナ
(須賀川市)

ステージスケジュール

10:00	12:30 ~ 13:00
デフスポふくしまスタート	Fukurumカードタイアップ企画 高校生による新商品開発発表会
11:45 ~ 12:00	13:00 ~ 13:40
デフアスリート紹介	講演会
12:00 ~ 12:10	13:50 ~ 14:50
東京2025デフリンピック応援隊 キビタン・ベコ太郎とのフォトセッション	トークイベント
12:10 ~ 12:25	14:50 ~ 15:00
ふるさとの祭りタイアップ企画 伝統芸能披露	デフサッカー選手激励& フォトセッション

**14:50からのデフサッカー選手激励&フォトセッション内でじゃんけん大会を開催!
日本代表レプリカユニフォームを5名様にプレゼント!**

講演会

きこえない人ときこえる人をつなぐ立場で
語る、日常からデフリンピックまで

手話通訳士

講師 **保科 隼希氏**



©椋尾詩

日々きこえない人ときこえる人のことばや思いをつないでいる手話通訳士。ドラマ「Silent」の手話通訳を支援、国際スポーツ大会にも帯同する幅広い経験をお持ちの保科隼希さん(福島市出身)を講師に招き、誰もががらしやすい共生社会がどんなものか考えます。

トークイベント

1年後、デフリンピックを100倍楽しむためのトークイベント

「デフリンピックと言われても...きこえないとスポーツするのに困ることってあるの?きこえない選手をどうやって応援すればいいの?デフリンピックって自分には関係ない?」そんな疑問を紐解きながら、きこえない人ときこえる人のトップアスリート、手話通訳士、行政、様々な立場で、1年後に福島県にやってくるデフリンピックをどう楽しむか、デフリンピックによってどんな福島県になるか考えます。



元サッカー日本女子代表
岩淵 真奈氏

福島県文化スポーツ局長 市村 尊広



手話通訳士
保科 隼希氏



デフフットサル選手
岩淵 亜依氏
(アイチャレンジアスリートチーム所属)

ふるさとの祭りタイアップ企画 伝統芸能披露

いわき市を拠点に活動する菅波青年会(すがなみせいねんかい) じゃんがら念仏踊りはいわき市とその周辺地域に伝わる伝統芸能で、毎年8月のお盆の時期に新盆の供養のために踊られます。



Fukurumカードタイアップ企画 高校生による新商品開発発表会

県内の高校生などによる県産品の新商品開発や販売活動を支援する「ふくしまの未来を創るFukurum基金」事業。

①ふたば未来学園高等学校

広野町にあるふたば未来学園高等学校では、常盤ものをPRする商品として浪江町産のヒラメと同じく浪江町産タマネギ・浜の輝きを使用したなみえバーガーを道の駅なみえと共同開発。双葉郡の魅力をPRできる新商品開発を現在も継続中です。

②あさか開成高等学校

郡山市にあるあさか開成高等学校では、エシカル(倫理的)消費の普及啓発を目的に、福島県産食材を使用したお菓子の開発を行っています。今回は障がい者支援団体の学生の皆さんと収穫した野菜を使用したお菓子を開発しました。今後の活動にもご注目ください。